

# みて！みて！きて！

## ミニ情報



発行者 「エコ・サポート21」  
 天神3丁目11番31号  
 電話 23-5144

平成26年6月号

### ごみ減量アドバイザー委嘱にあたって

4月21日(月)に研修会があり、様々な工夫を凝らした資料等をいただきました。今まではごみについては素人であり、一般的な知識しかありませんでしたが、研修等を受けた中で、「なるほど!」と思うことがあり、また、ごみの分別でも知らなかったこともあるので、いくつか挙げてみたいと思います。

#### 1. プラマーク付プラスチックについて

商品を入れたり包んでいるプラスチック製の容器包装材料のことであり、「容器包装リサイクル法」の下で、製造・メーカー・消費者がリサイクル費用を分担していること。したがって、同じプラスチック製でも、プラスチック容器と包装材料はプラマーク付プラスチック(緑の袋)で、その他のプラスチック製品は燃やせないごみ(赤い袋)で、それぞれ分別が違うことを知りました。

#### 2. 雑がみについて

小さな紙や束ねづらい形状の紙は、燃やせるごみ(青い袋)で出していたが、紙袋にためておき、出すときに紙袋ごと紐等でくくって出せるようになり、どのような小さな紙でもリサイクルできることを知りました。4月以降各家庭に「雑がみ回収袋」が配布されます。

#### 3. 生ごみについて

燃やせるごみの40%は水分といわれます。しっかり水分を切り、さらに生ごみを堆肥化して再利用できます。

上記のようなことを知らない人達が多くいると思います。これから担当の地域に広げていきたいと思っています。

このミニ情報のカレンダーにて毎月館内で行われる催しをお知らせいたします。催し物がない日でも、気楽にお出かけください。良い情報交換ができると思います。

環境に配慮したグリーン購入のお手伝いとして、エコ文具の販売、ペットボトルから作ったネクタイの販売と、手づくりのリサイクル品、布ぞうり、袋物、さき織り製品等の販売をしています。

#### 古着の回収

**6月6日(金)午前10時から正午**

時間内に持参してください。

ごみ減量にご協力ください。

衣類を燃やさずリサイクルしましょう。

1	日	休館日
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	古着回収日
7	土	休館日
8	日	休館日
9	月	
10	火	
11	水	
12	木	着物地からトートバッグ作り
13	金	
14	土	休館日
15	日	休館日
16	月	
17	火	布ぞうり作り
18	水	
19	木	着物地からトートバッグ作り
20	金	
21	土	休館日
22	日	休館日
23	月	
24	火	布ぞうり作り
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	休館日
29	日	休館日
30	月	

# さあ！出かけましょう エコ・ハウスへ

## ウィークエンドリサイクルに立ち会って

4月よりごみ減量アドバイザーを引き受け、皆様の協力を得ながら活動を広げていきたいと思っています。

初めての活動は、ウィークエンドリサイクルの立会いでした。初めてなのでリーダーから細かいアドバイスを受けながらでした。

・空き缶の胴巻紙が付いているものは、胴巻紙を外して雑がみで出します。

・菓子などが入っていた大きな缶は足で踏む等して小さく折りたたみ、口の広い缶は口を潰して出します（なぜか？アルミ缶とスチール缶が混合回収なので、アルミ缶がスチール缶の中に入り込まないようにするため）。

・金属のキャップは、内側にパッキンが付いているため、また、網からこぼれてしまうため、燃やせないごみで出します。プラスチックのキャップはプラマーク付プラスチックで出します。

等々、細かくアドバイスをしながら回収の立会いをしました。小学生の子どもさんとお父さんの親子が、所定の場所にきちんと入れている姿が印象的でした。「僕たちも役にたっているんだよ。」というような気持ちを感じました。子どもの頃よりリサイクルに関心を持ち、どのように再商品化されるのか興味を持つことにより、これからごみに対しての向き合い方も違ってくると思います。

## 体験コーナー

空き缶のリサイクル

牛乳パックのリサイクル

少しの時間で作れる物があります。

## 生ごみの堆肥化とごみ減量

わかりやすく、すぐ実行できるごみ減量法をアドバイスいたします。



## \* わくわく講座 \* (参加費各回 100 円)

### 着物地からトートバッグ作り (定員 8 名)

日 時	6月12日(木)、19日(木)(2回コース、午前10時~午後3時)
持ち物	着物(ほどいて)、裏用布、裁縫道具、昼食
諸経費	一回100円
材料費	別途

### 布ぞうり作り (定員 10 名)

サラッとした感触が素足に心地よく、外反母趾にも効果あり。

古布を捨てずにカラフルな布ぞうりはいかがですか。

使い古したもめんのシーツ、ゆかた、洋服を裂いて、わらじのように編んで作ります。

日 時	6月17日(火)、24日(火)(2回コース、午前10時~午後3時)
持ち物	はさみ、ものさし(30cm位)、昼食
材料費	30円 材料は各自、手持ちの布を持参してください。

(ゆかた、シーツ、布団カバー等ほどいて持ってきてください。)

## 申し込み、問い合わせ先

「エコ・ハウス」(上田クリーンセンター内) 上田市天神 3-11-31 23 - 5144

エコ・サポート 21 ホームページ <http://www.city.ueda.nagano.jp/hp/ecohouse/>